

市議会だより

2020.4.20
3月定例会
No.85



特集 令和2年度当初予算可決 2P~3P
委員会審査報告 4P~7P
一般質問 7P~13P

議案等審議結果 14P~15P
行政視察調査報告など 16P~17P
議会トピックス・編集後記 18P

ぶりの小規模編成 「骨格型予算」承認!

特集

**当初予算を
可決しました**

伊藤新市長を迎え、初めての3月定例会が行われました。令和2年度の予算審査からは、昨年までの3常任委員会ではなく、議長を除く全議員14人による予算特別委員会を編成し、審査することに変更しました。3日間、委員会で慎重に審査し、提出された11議案を、議会として可決いたしました。

予算編成は市長選挙と時期が重なるため、新市長の意向はほとんど反映されない「骨格型予算」となりました。新市長の公約、方針、ロープウェイの運休および新型コロナウイルスの問題への対応については、今後、補正予算という形で提出されることと思います。



予算審査内容ピックアップ

商工費



観光振興事業(伊南DMO運営関連) 23,393千円

事業内容 「観光地域づくり基本戦略」に基づき伊南DMOの設立により滞在型観光への転換を図る。

議会としてのこれまでの取り組み 観光に関わる事業評価を行い、上伊那DMOおよび駒ヶ根観光協会との連携や役割など、議会および全員の協議会で提言してきました。

消防費



防災体制の充実・地域防災力の強化(自主防災・消防団) 23,404千円

事業内容 災害による被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守る。自主防災の充実・消防団員の確保。

議会としてのこれまでの取り組み 昨年の台風19号の災害からの教訓も踏まえ行った事業評価の内容も反映されています。

市街地再生推進事業 8,676千円

事業内容 中心市街地の将来像を地元や関係機関と共有し賑わいあふれるまちの再生に向けて取り組む。

議会としてのこれまでの取り組み 令和2年、商工会議所役員と議員による意見交換会を行い、市街地再生に向けて、今後、議会として、取り組んでまいります。

総務費

青年海外協力協会連携事業 10,787千円

事業内容 生涯活躍のまち構想(こちやまぜのまちづくり)の具現化および大使村プロジェクトの推進、地域おこし協力隊事業も併せて実施。

議会としてのこれまでの取り組み 生涯活躍のまち構想の先進地・石川県白山市、輪島市、金沢市などを視察し、駒ヶ根らしい構想になるよう提案を行っています。



大型事業は完了 14年 令和2年度 新市長による

当初予算規模

令和2年度当初予算		前年度当初比較	
		増減額	増減率
一般会計	136億100万円	-19億5,800万円	-12.6%
特別・企業会計	103億6,243万円	-5億1,575万円	-4.7%
合計	239億6,343万円	-24億7,375万円	-9.4%

予算特別委員会の審査内容は、5〜7ページをご覧ください。



教育費



事業内容 市民皆スポーツの推進により、健康の保持推進と体力の向上および地域間交流の充実を図る。



保健体育総務管理事務

15,422千円

議会としてのこれまでの取り組み
ランナーから評価の高い信州駒ヶ根ハーフマラソンなど、平成30年に事業評価を行い、今後のあり方など提案していきましました。

事業内容 文化・芸術に親しみ、感性や情操を高めていく場や機会を提供し、芸術・文化の啓発や意識の向上を図る。

文化センター管理運営事業

205,014千円

議会としてのこれまでの取り組み
地域交流センター（赤穂公民館）との連携のあり方など、それぞれの施設がより多くの市民に使用していただけるように、議会および全員協賛で提案を続けています。



土木費

事業内容 道路の維持、補修工事および生活関連道路の改良工事を行う。

道路維持事業・市単道路改良事業

84,154千円

議会としてのこれまでの取り組み
令和元年度事業評価の教育民生建設委員会で取り上げた内容が、道路改修の優先順位などに反映されています。

事業内容 適切な管理が行われていない空家等対策の推進を行う。

空家等対策事業

6,712千円

議会としてのこれまでの取り組み
倒壊のおそれのある空き家や、景観上問題がある空き家があることを多くの議員が一般質問で取り上げ、指摘しています。

委員会審査報告

総務産業委員会

〔1月15日開催〕第1回駒ヶ根市議会臨時会で付託された1議案を可決。

〔2月25日・3月10日・19日開催〕第2回駒ヶ根市議会定例会で付託された7議案すべてを可決。陳情1件を審査。

●議案第1号 財産の処分について

すずらん荘の売却

問 すずらん荘を落札した会社との契約に特約条項はあるのか。

答 契約の特約は5項目あるほか、契約の本文で旅館業を10年間継続する取り決めをしている。

●議案第10号 令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第6号)

観光関連産業緊急対策資金の創設及び利子補給

問 今後、新型コロナウイルスの影響への対応も考えているか。

答 今後、国・県の資金も用意されると考えるが、3月上旬に金融機関と懇談会も行い、市は別途考える。

問 ロープウェイ休止の影響か新型コロナウイルスの影響かの判断は。

答 中小企業鑑定士などの鑑定書や意見を付け、そこで判断する。

●議案第25号 令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第7号)

飲食店は昼間営業が条件だったが、他の業種はどうか。

ふるさと納税

問 ふるさと納税3.5億円は何人から寄付があったのか。

答 人数は不明だが1万2千755件あった。

問 当市で人気の返礼品の傾向は。

答 1位はウイスキー、2位はアウトドア用のケトル、カップなど。他には米など。

商店街活性化空き店舗等活用事業

問 空き店舗等活用事業で8店舗が閉店した理由は。

答 店主の体力やほかの場所や県外に移転したいなど個人の理由による。

問 飲食店は昼間営業が条件だったが、他の業種はどうか。

答 11時から15時までの営業と2年以上営業することなどが条件。

駒ヶ根高原再整備計画

問 駒ヶ根高原再整備計画のメンバーは。

答 観光事業者、宿泊事業者、JA上伊那、北割一区・二区、中割区自治会の一部の皆さん。

●議案第33号 令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号)

および

●議案第34号 令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)

「新型コロナウイルス緊急対策資金」の創設及び当資金の利子補給

問 窓口はどこか。市民に分かりやすい案内を市でできないか。

答 窓口は金融機関。市に問い合わせがあれば応じる。

問 申し込みから融資までの期間は。

答 1週間以内に行っている見込み。

問 国や県で似た内容の支援策が出た場合の対応は。

答 国や県も一長一短ある。事業者に有利な方を案内する。

●陳情第2号 「最低賃金の改正と中小企業の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書の賛成討論

非正規労働者が増えており、未婚の相関関係が内閣府の調査でも明らか。中小零細企業への支援は重要だが、最低賃金を上げ、労働者が生活できることが重要。

●反対討論 中小零細企業は世界的な価格競争、米中経済戦争、新型コロナ

ナウイユスの影響下で最低賃金を一気に上げるには厳しい状況。時期尚早である。

趣旨採択

意見書の中 小零細企業への支援策の拡充は大切なことで趣旨には賛同するが、1千500円以上という金額、全国一律の部分には議論が必要。不採択(賛成1、趣旨採択1、反対4)



教育民生建設委員会

〔3月11日開催〕第2回駒ヶ根市議会定例会で付託された15議案すべてを可決。陳情1件は継続審査に。

●議案第6号 駒ヶ根市
手数料徴収条例の一部
を改正する条例

戸籍の管理

問 除票したものの管理を、なぜ5年から150年としたのか。今までの管理では不足だということか。

答 空き家・空き地など、所有権移転の登記が必要な場合に、書類がない状態だと証明に不備があるため、管理年数を変更した。

●議案第8号 駒ヶ根市
営住宅条例の一部を改正する条例

市営住宅条例の改正

問 昨今の家族関係が希薄になっている中で、連帯保証人をつけなければならないという定めは、社会状況に即していないのではないか。

●議案第25号 令和元年
度駒ヶ根市一般会計補
正予算（第7号）

公園管理

答 連帯保証人は、入居者の支援など連絡調整をするという位置づけがあり、管理する側として連帯保証人が必要としている。見つからない場合は県の社会福祉事業のメニューの中で連帯保証人を補完する役目を担うものがあるので利用すれば入居することも可能。

問 市民プール跡地の整備は、いつになるのか。

答 財政的に厳しく予算の見通しが立たない。当面暫定的として広場的な利用ができるような最低限の整備をこの予算でしたい。

学校の通信ネットワーク環境整備

問 1人1台の端末を持つようICT環境を整えていくということは、校内LANを整備して、対応していくということか。

答 1人1台端末を持つと、現在容量が不足しているため、皆が動画を見てもそんな色なく動かせる容量になるよう環境を整備する。

●議案第26号 令和元年
度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算（第5号）

高齢者自立支援の取り組みの評価

問 高齢者の自立支援を目的とする保険者機能強化推進交付金が交付されるということだが、当市の交付金額は多いの少ないのか。

答 評価点と保険者数で勘案し交付額が算定されるが、長野県の平均は409点、駒ヶ根



市の点数は642点であるので、県の中では上位のランクにある。交付金額は多い。

●議案第30号 社会資本整備総合交付金 都市再構築戦略事業 駒ヶ根市地域交流センター（赤穂公民館）等整備 建築本體工事変更申請契約の締結について

地域交流センター工事について

問 高力ボルトの納入が遅れ、工期の延長が発生し、人件費が掛かったということになる

のか。当初より掛かる時間は見積もられていたわけだが、物が入らず費やされないはずの工数との関係で説明を。

答 物が来なかった3箇月分を全く止めてしまうと、職人の手配が困難となる。現場をスムーズに動かす必要があった。工事延長をして、延長分はこちらで経費をみた。

問 建築本體工事と機械設備、電気設備の3つを合わせると3437万5千円になり、変更後の工事費が15億6千

予算特別委員会

〔3月12・13・16日開催〕令和2年度予算関係11議案について、特別委員会（委員長 池上善文 副委員長 小原晃一）を設置して審議。すべてを可決。委員構成は議長を除く全議員（14人）

●議案第12号 令和2年
度駒ヶ根市一般会計
こまタク予約システム

こまタク予約システム

問 現在こまタクの予約は、オペレーター対応であるが自動受付はできないか。

答 令和2年5月には、自動電話受付を導入予定である。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊の財源と今後の募集については。

答 財源は全額交付税で対応している。JOCAとも連携し募集を行う。

地方創生推進交付金

問 地方創生推進交付金をこちゃませの街づくりや障がい者支援など庁内横断的事業に利用できないか。

答 総合戦略に記載の事業で、まちなか活性化、移住・定住、健康促進など横断的に利用している。

ポカラ市交流事業

問 交流20周年を記念しモニUMENTを設置するとあるが具体的内容は。

答 チョウタラII神の木(菩提樹など)を中心に長方形の石囲いで段を作り、市民が休憩できる公共的な場所に設置する。

普通財産(建物)維持補修工事の内容

問 駅前ホテル・旧モルゲンロードの現状と補修についての具体的対策は。

答 平成29年に市普通財産として取得。

雨漏りがひどく、市民に迷惑がおよぶ危険がある。令和2年度予算130万円、雨漏り対策補修工事を行う。

繰り上げ償還

問 新市長は財政健全化で繰り上げ償還をまず行うとしているが、財源はあるのか。

答 財源は乏しいため、交付税措置のない起債から返していく。財源は市有土地の売却益、事業削減などにより捻出する。

問 大型生ゴミ処理機撤去に伴い、生ゴミの削減に向け処理対策はあるか。

答 家庭でのコンポスト処理、底面有穴バケツ利用処理を進める。家庭用生ゴミ処理機の購入補助も行う。

災害対策

問 防災備蓄資機材の整備の現状と予算内容は。

答 台風19号の教訓からプレイベイトルーム240セット、テント60張りを整備済。令

和2年度は簡易発電機、高齢者用避難ベッド、トイレカートリッジ2千セットを予算化している。

公衆浴場経営安定化補助

問 公衆浴場すみれの湯の補助と設備修理の費用負担をどうするか。

答 市民利用があり継続運営を依頼した経過からも毎年経営安定化のために補助金を出している。

生ゴミ堆肥化事業

問 北の原公園テニスコート・市民プール跡地の整備利用はどうなるのか。

答 北の原公園全体の整備計画は策定済み。テニスコート利用は継続する。

太陽光発電の活用

問 遊休地での利用の太陽光発電設置が多く見られる。災害時の地域への供給は可能か。

答 遊休地での利用の太陽光発電設置が多く見られる。災害時の地域への供給は可能か。

答 今後は、固定価格の安価傾向から自家消費が主流となる。災害時に供給の可能なものとなる。

道路改修事業

問 道路改修の優先順位についての考え方は。令和2年度改修する道路はどこか。

答 道路整備プログラムに基づき交付金の決定で判断していく。令和2年度は光前寺南線・菅沼線は歩道整備、広小路小町屋線は舗装修繕などを計画している。

公園管理事業

問 新公民館は地域の文化団体・グループなどの発表や育成・支援の場。市民の声を聞きながら相互の利便性を高めていく。

答 文化会館は文化・芸術に親しみ感性や情操を高めていく場。新公民館は地域の文化団体・グループなどの発表や育成・支援の場。市民の声を聞きながら相互の利便性を高めていく。

問 エル・システマ事業

答 議会として提出した事業評価に、主体の事業から民間活動として自立できるように要望したが、どうか。

景観まちづくり推進事業

問 景観形成住民協定協議会への育成支援を今後どうするか。

答 当初10年間の補助支援であったが、協議会が美しい景観のまちづくりに必要であるため、引き続き5団体に8万円補助をしていく。

文化センター管理運営事業

問 文化会館と新公民館のおおのの位置づけと市民の相互理解をどのように得ていくか。

答 文化会館は文化・芸術に親しみ感性や情操を高めていく場。新公民館は地域の文化団体・グループなどの発表や育成・支援の場。市民の声を聞きながら相互の利便性を高めていく。

問 限定予算の中、具体的保存事業内容。また、文化財の保存活動に民間団体の力を借りられないか。

答 旧竹村家屋根補修、民俗資料館の保存管理などを行う。東伊那地区による芭蕉の松保存管理、登戸古文書研究など、地元で守ってもらう段階にきている。

るが、裾野を広げていく取り組みは大切。補助金頼みではなく、参加者自身がお金を出して運営していくことも考えていく。

公民館事業

問 JICA隊員のアンケートや市民の声をどう公民館事業に生かしていくのか。

答 地域課題の解決への実践事業や公民館システムの勉強会、公民館OBによる講座の開設、地域の人材育成などを事業として、展開していく。

文化財保存事業

問 旧竹村家屋根補修、民俗資料館の保存管理などを行う。東伊那地区による芭蕉の松保存管理、登戸古文書研究など、地元で守ってもらう段階にきている。

答 旧竹村家屋根補修、民俗資料館の保存管理などを行う。東伊那地区による芭蕉の松保存管理、登戸古文書研究など、地元で守ってもらう段階にきている。

高齢出産の対応

問 高齢出産や子育て支援の対応は。

答 栄養士や助産師とも連携して電話相談や訪問相談で対応している。

十二天の森管理運営事業

問 市民の森としての新事業をどう展開するのか。

答 生涯学習の場として、文化財に位置づけ、3世代利活用を進めていきたい。

ALT配置

問 外国語指導助手（ALT）配置の予算措置と基本的な考え方は。

答 全額交付税で対応できる。小・中学校の両方のネイティブ英語教育に関わり、レベルの向上に期待できる。

●議案第15号 令和2年度駒ヶ根市介護保険特別会計

介護予防・生活支援事業

問 昭和伊南総合病院と連携した介護予防ケアマネージメントの成果は。

答 脳卒中治療で退院した人への看護師

訪問支援で再発率平成30年8%から令和2年5%に減少し、支援効果がでている。

●議案第20号 令和2年度駒ヶ根市水道事業会計

安全な水道水の供給

問 基幹管路などの耐震化率と管路素材に塩化ビニール管は使用されているのか。

答 管路などの耐震化率は91・5%以上で、塩ビ管に代わりHBB管やラクタイル管を使用している。

●議案第21号 令和2年度駒ヶ根市公共下水道事業会計

下水道事業

下水道事業業務継続計画はいつできるのか。

問 県と一緒に進め、令和2年度末を目標にしている。

答 令和2年度末を目標にしている。

下水道事業会計

問 現金預金の残高と今後の資金調達の課題はどこにあるのか。

答 現在預金は5億円弱。国の指示で利用料に減価償却費を乗せられない。今後、一般会計の繰り入れと利用料金の見直しが必要である。

●議案第22号 駒ヶ根市農業集落排水事業会計

農集排のマンホールに係る修繕

問 公共マスから本管までは市の所有だが、マンホールの修繕などは市でできるのか。

答 予算200万円計上で現地確認調査の上、修繕する。ただし、維持管理は各農集排で実施していただく。

●議案第21号 令和2年度駒ヶ根市公共下水道事業会計

議員12名 市政を問う ●ホームページでもご覧いただけます。



一般質問項目

- 池上 善文
 - 財政再建に取り組む心構えについて
 - 市長選挙の時期について
 - 職員の意識改革と対話について
- 松崎 剛也
 - 異常気象などに備えた防災対策は
 - 都市計画税対象区域の見直しは
 - 新型コロナウイルスへの対策と現状は
- 竹村 誉
 - 市長が掲げた5つの安全・安心の公約を問う
 - 地球温暖化対策への当市の貢献と、治水対策は
 - 国民健康保険の安定と保険税抑制の取り組みは
- 小原 茂幸
 - 駒ヶ根新時代として目指すまちづくりとは
 - 交流人口、関係人口、定住人口の増加策は
 - 都市計画におけるランドデザインへの考え方は
- 竹村 知子
 - 市長の公約と財政健全化の道すじは
 - 幼児教育・保育の無償化による評価と課題は
 - 竜東の地域資源と活性化について
- 小原 晃一
 - 菅の台を中心とした観光行政の推進への認識は
 - 中ア山麓の財産である水資源を保護管理する必要性は
 - 市政の深い理解のため区長会と自治会長の合同会議は

- 加治木 今
 - 土地利用に合わせ都市計画税の課税範囲の見直しを
 - 公共施設の整備計画で保育園、幼稚園の統合を
 - 縦割り行政から横に連携した行政組織の実行を
- 池田 幸代
 - 市長施政方針を問う
 - 妊婦健診公費助成に関する監査態勢の充実
- 中原 茂之
 - 中長期における駒ヶ根市のあるべき姿とは
- 氣賀澤葉子
 - 「チバニアン」と同じ年代の地層、駒ヶ根市の鼠川テフラの保存は
 - これからの財政健全化の取り組みについて
- 塩澤 康一
 - こまちゃんバス復活の考えは
 - 栗林地区の松くい虫防除は隔年で空中散布できないか
 - 国定公園化を機に日本の屋根・日本アルプスの呼称を
- 宮下 稔
 - 若者、女性が輝くまちづくりを
 - 農業を持続可能な産業へ
 - 郊外振興を第2期総合戦略へ

一般質問は、エコーシティー・駒ヶ岳でも放送しています。



池上 善文 議員

財政再建に取り組む覚悟について

まずは財政再建の3本柱で取り組む

最も優先して取り組むべき課題は財政再建、財政の健全化とある。このこと

に取り組み覚悟と心構えは。具体的にはどのようなことをどんな手順、工程で行うのか。

市長 財政健全化は、一朝一夕に結果の出る簡単な課題ではない。財政再建の3本柱として、①財政状況見

通しを市民に正しく情報提供していく②公共施設統廃

合の推進方針を示す③新たな歳入確保の仕組みづくり、以上3点を粘り強く一歩一歩進める。いずれも市民の理解と協力が絶対に必要と考える。

問 新年度予算編成と重なる市長選挙の時期について決してふさわしくないと考

えるが変えることはできないのか。

選挙事務局長 公職選挙法

において任期満了前の30日間と決められており、法律上変更はできない。

問 当選発表から中2日での初登庁である。せめて1

週間位の間をおいての初登庁という日程は組めないのか。

選挙事務局長 曆のめぐり

合せもあるが日程調整は可能である。

問 対話をキーワードに市政を進めると言われている。職員との対話も重要視されているが進め方は。

市長 市職員全員と各人10分程度面談したい。楽しくやりがいを感じ仕事をすることが職場の活性化、地域の元気につながる。一人一人と対話することが重要。



新しい市政運営へ歩み始める駒ヶ根市



松崎 剛也 議員

駒ヶ根浄化センターの浸水想定は

二日連続250ミリの雨でも浸水しない

問 下平区にある駒ヶ根浄化センターは水害時にどの程度大丈夫か。天竜川氾濫

による浸水想定や対策は。市長 上流において二日連続で250ミリの降雨量を想定した「百年に一度の水害想定」でも浸水しない設計になっている。堤防が決壊するような千年に一度の水害では浸水の可能性はあ

る。その場合、市としては早期の復旧に努める。

問 いきいき交流センターなど各避難所に告知放送を聞く事のできる機器導入と冷房設置の考えは。

市長 市の要望で、CEKが未設置の全避難所に音声告知の機器を導入する。冷房設置においては新年度に助成制度を検討していく。

問 都市計画税がかかる用途地域に不公平感があり、時代に合った見直しをするべきと考えるがどうか。市長は駒ヶ根の止まった時計のような事案を動かすか。

市長 人口増加の見込みがないなど用途地域の見直しは困難であると現状では考えている。この問題にはさらなる検討をしていきたい。

問 移住促進に向けて農地取得・転用の条件緩和は。

市長 条件付きだが農地取得の下限面積を1アールとするための準備を農業委員会ですており、早期の運用を目指している。

問 新型コロナウイルスの対策と現状は。

市長 対策本部を設置し国や県の動向を踏まえ、情報発信など適切な対応を心掛けている。



天竜川堤防に隣接している駒ヶ根浄化センター(公共下水道終末処理場)



葦のたい積が緊急放流、増水の爪痕を残している

市長 必要に応じ基金を活用し負担抑制に努め、県方針に沿い国保税軽減目的の法定外繰り入れは行わない。



広小路商店街の旧ホテル屋上から望む中心市街地

市長 当市中心市街地に医食住などが集まる施設をつくり再建したい。長期の定期借地権を設定し、まちづくりを担う組織を検討している。官民連携して、再生の気運を高めていきたい。

問 公約の「ムダを省きつつ、稼げる街づくりに取り組むこと」で財政再建にしっかりと道筋をつける」とは。
市長 事業見直しの徹底と、大型事業絞り込みで市債の発行額を抑え、公共施設の再配置や更新の優先順位を整備する。当市出身の地域資源「天下の糸平」を活かした事業展開を果たしたい。

問 市民と100回語り合うことの構想、風通しの良い市政実現のイメージは。
市長 市街地の50人程が集まれる場所で平日の夜に1時間半程を想定。自由な対話から問題解決や発展の手掛かりのアイデアに期待。
問 地球温暖化対策に取り組む気候非常事態宣言や「世界首長誓約／日本」に

参加を表明し、気候変動に對する貢献を示す考えは。
市長 省エネ自給率の分母となる市内の使用電力量を減らすための方策が課題。
問 台風19号の美和ダム緊急放流を受け、戸草ダム建設が取り沙汰されている。昨今の温暖化で、ダム建設による貯水量の拡大は、さらに大きな危険を下流域に及ぼす懸念がある。見解は。
市長 美和ダム上流域にさらに治水ダムが整備されれば、災害リスクは分散し、下流の安心安全は向上する。

問 公約に、すこ風通しの良い市政を実現するとして、市長と100回語り合う会がある。市民の関心も高いが、どのような内容で、いつ頃から始めるのか。
市長 新年度の早い時期から始めたい。ざっくりと市民と情報共有するとともに、課題などの理解を深め、市

政への関心を高めていく場とする。自由な対話の中から、問題解決や発展に繋がるアイデアを生み出したい。
問 公約としている「健康先進都市、駒ヶ根」に関し、昭和伊南総合病院は栄養指導や山岳リゾートを組み合わせた、特色ある医療施設への発展を目指す。病院経営の安定化を図り、市民の医

療拠点を守る、とあるが、その道筋は。
市長 さまざまな機関と調整し、健康診断と地元産食材などを組み合わせた栄養指導を行い、中央アルプスを体験していただくメディアカルツアーを企画する。病院経営を安定化させ、市民の健康を第一に考える健康先進都市を目指したい。



竹村 誉 議員

問 地域資源を活かした稼げる仕組みとは

答 当市出身「天下の糸平」で事業展開図る



小原 茂幸 議員

問 中心市街地の再興は

答 官民連携して粘り強く取り組む



竹村 知子 議員

問 財政の現状認識と健全化への取り組みは

答 財政健全化プランを令和2年度中に示す

問 当市の平成30年度の将来負担比率、実質公債費比率はいずれも、長野県でワースト1位。厳しい財政運営が予想されるが、現状認識と財政健全化へ向けての取り組みは。

市長 財政悪化の一番の要因は市債残高の多さ、公債費、一部事務組合などへの負担金の多さである。財政

健全化には借金の繰り上げ償還を行い、公債費を減らすことが重要。市債発行の抑制、事業見直し、公共施設の統廃合の推進、歳入の確保に取り組み、財政健全化プランを令和2年度中に示し、財政改善のため市民の皆さまと一緒に粘り強く取り組む。

問 幼児教育・保育の無償

化に関する実態調査を行なった。利用者の声は約9割が幼児教育・保育の無償化を評価すると、肯定的だが、保育士不足の実態と確保が今後の課題であるが対応は。

問 菅の台を中心とした観光行政の推進への認識と今後の展望についての考えは。

市長 これからの観光行政は地域のありのままの暮らし、人や事を体験するニーズへと変化しており地域の資源を磨き地域産業をも活性化する重要なプロジェクトと認識している。

問 観光行政に対する市長の認識は

答 地域産業を活性化する手立てをする



小原 晃一 議員

問 菅の台を中心とした観光行政の推進への認識と今後の展望についての考えは。

市長 これからの観光行政は地域のありのままの暮らし、人や事を体験するニーズへと変化しており地域の資源を磨き地域産業をも活性化する重要なプロジェクトと認識している。

休の中、中央アルプス観光（株）の株主として社員の就労、勤務の現状と雇用の確保がどのようにされているのか。

市長 社員研修や休暇取得で対応していると聞く。雪解けを待ち橋脚を修復し夏のトップシーズンまでにロープウェイを運行したいと会社に聞いている。7月

の株主総会の取締役任命をもって、また、コロナウイルスの状況を見て雇用継続・確保を求め支援策を行う。

問 市政のより深い理解を得るために区長会と自治会長の間合議の開催はできないか。

総務部長 年6回区長会があり4月は正副区長が出席され市の主要事業や補助制度などを説明している。防災などのテーマを決めて合同研修会開催が可能か否か区長会の意向を聞き検討したい。



すべての子どもたちに質の高い幼児教育・保育を

問 竜東振興の対応策は。

市長 それぞれの地域が特性を活かして役割分担を果たし、その地域にふさわしい対策をうつことにより駒ヶ根全体をより良くしていくという観点が大事である。



今こそ市民が菅の台へ行きましょう

問 事業見直しのなかで中期（3年）長期（5年）の具体的事業を示して欲しい。

市長 係長以上を中心とした庁内横断的見直しを令和2年度中に実施し市民委員会の意見を聞きたい。



広場のような街とはさまざまな人が意見を交わす街…ぱとなでも

市長 さまざまな人が自由に出入りして意見を交わし、新しい取り組みを展開できる街。そのためには見かた、意見を受け入れる柔軟性がなければ人材が力を発揮できない。



仕事や住まいなど暮らしで生じる困難を相談できる機関のリストを公共施設のトイレなどに置いて情報提供を

市長 妊娠健診公費助成に関し医療機関への監査態勢充実は。 **教育長** 妊婦本人にも分かりやすく説明する。相談があれば市に連絡を。



加治木 今 議員

問

都市計画税課税区域を見直すべきでは

答

課税区域、税率の変更など研究する

問 都市計画税は用途地域にのみ課税されているが伊南バイパス開通など、現在それ以外の地域が開発されている。長年の懸案であり、税収を増やす面からも用途地域を広げる、または課税範囲を竜西全体にするなど見直しをすべきではないか。

市長 未満児保育希望が増えてきており園児の推計が難しい現況。整備は必要で

市長 横の連携は不可欠。他の部署の事業を意識しながら連携し柔軟で効率的な体制作りに取り組んでいく。

市長 横の連携は不可欠。他の部署の事業を意識しながら連携し柔軟で効率的な体制作りに取り組んでいく。

市長 地域の話し合いで守るべき森林の選定や対策方法などの検討を経てから次のプロセスになる。

市長 過去の報告があったため、生活保護担当ケースワーカーが近くの公園などで見回りも。生活困窮者への対応は「まいさぼ」で。



池田 幸代 議員

問

学校にスクールソーシャルワーカーは

答

家庭児童相談指導主事登用以外考えず

問 あり特色ある保育園づくりは必要。個別施設整備計画の中で位置づけていく。

市長 注目されているが収量確保や栽培技術に課題。JAや農業普及開発センターと共に検討したい。

市長 注目されているが収量確保や栽培技術に課題。JAや農業普及開発センターと共に検討したい。

市長 注目されているが収量確保や栽培技術に課題。JAや農業普及開発センターと共に検討したい。

市長 注目されているが収量確保や栽培技術に課題。JAや農業普及開発センターと共に検討したい。

市長 注目されているが収量確保や栽培技術に課題。JAや農業普及開発センターと共に検討したい。



駒ヶ根スポーツ少年団（バスケット）
県大会に優勝するも、新型コロナウイルスのため全国大会中止、未来に向かってガンバレ「財政健全化プラン」で子供たちのためにも夢と希望にあふれる駒ヶ根市づくりを



中原 茂之 議員

問 中長期における市のあるべき姿とは

答 財政健全化プランを作成し示してゆく

問 市町村合併ができなかったため、その恩恵にあらずかれず財政悪化が生じたとの意見もあるが、その後制定された長期総合計画には財政計画が入っていない。しっかりとした財政計画が無いままの市政運営が財政悪化を招いたのではないか。今後は財政計画も入れた総合計画を策定するべきであ

るが市長の見解を聞きたい。
市長 令和2年度には財政健全化プランを策定したい。まずは将来負担比率及び実質公債費比率などは、わかりやすく説明し財政状況の厳しさを市民の皆様と共有し課題のありかを考え、また公共施設の統廃合などを検討し、そして市内にお金がおちる新たな歳入確保の

仕組みづくりなどを入れた財政健全化プランを立て、それを踏まえて財政計画を検討してゆく。
問 今後は市民も知恵と時間を使い行政と共に、駒ヶ根市のよりよい未来を目指すべきだが、行政に携わる方々も、市民との協働という手法を考えなければならぬ。その為には、職員

の意識改革も必要だが、市長の見解をお聞きしたい。
市長 新年度には全職員と面談をし、必要な人材配置を行い必要なプロジェクトチームに有為な人材を生かしていきたい。役所は市のシンクタンク又エンジンとなりうる存在であり、職員が力を存分に発揮することはまちづくりの基本の一つであり職員と対話をしながら取り組んでゆく。

仕組みづくりなどを入れた財政健全化プランを立て、それを踏まえて財政計画を検討してゆく。
問 今後は市民も知恵と時間を使い行政と共に、駒ヶ根市のよりよい未来を目指すべきだが、行政に携わる方々も、市民との協働という手法を考えなければならぬ。その為には、職員



氣賀澤 葉子 議員

問 「チバニアン」の地層鼠川テフラ保存は

答 貴重な場と認識し市民への周知を図る

問 46億年の地球の歴史で、地質年代の名称のひとつに、初めて日本の地名にちなむ「チバニアン」が認定された。同じ年代の地層が駒ヶ根市上赤須の鼠川下流域で発見されている。風化し崩れてしまいう前に、文化財として保存しては。
教育長 中央アルプスの成り立ちや地球の歴史を学習できる貴重な場所と認識。専門家の助言を得るとも

に、市民への周知を図る。
問 文化財に対する専門性を持つ職員を社会教育課に配置してはどうか。
教育長 学芸員資格を持つ職員もいるが、文化財の分野は多岐にわたり、必ずしも配属されるとは限らない。
問 財政健全化につなげる大ナタを振るう事業見直しをどう実施するのか。
市長 事業見直しの候補を予算査定の中で具体化し、

市主催のイベントの整理も検討し、必要に応じて大胆に見直ししていく。
問 「道路整備プログラム」を見直し、市民に提示することが必要なのでは。
市長 市内の交通体系は大きく変わり、計画は見直す。整備すべき道路の現状を把握して方針を検討し、市民に広く周知していく。
問 令和2年度に公共施設統廃合に関する「個別施設計画」を策定する



発見時より風化が進んだ鼠川テフラの露頭
(写真中央部分)

計画」を策定する
このことだが、担当の職員の配置は。
市長 新年度から新たに担当室を設け、室長、建築技師、施設を所管する関係職員を兼務で配置し、体制を整え対応していく。



中央アルプスの国立公園化を機に「日本の屋根・日本アルプス」の呼称で全国・全世界にPRを

中央アルプスの国立公園化を機に「日本の屋根・日本アルプス」の呼称で全国・全世界にPRを
 中央アルプスの国立公園化を機に日本の屋根・日本アルプスの呼称を。
市長 提案として参考にし、今後のPR活動に取り組んでいく。



アントレプレナーシップ・キャリア教育
 (2019. 7. 19赤穂中学校)

地域で起業している大人に触れ、将来の自分を考える取り組み

地域で起業している大人に触れ、将来の自分を考える取り組み
市長 市全体がよくなることが重要。国の「小さな拠点づくり」の枠組みで支援を活用できるように、総合戦略への位置付けを検討する。



塩澤 康一 議員

問

こまちゃんバス復活の考えはあるか

答

当市に合う地域公共交通を検討したい

問 市長は公共交通機関を用意することは行政の最低限の義務としている。こまちゃんバス復活の考えはあるか。あるいは具体的に他の方策の考えはあるか。

市長 令和2年度の地域公共交通網形成計画で、当市に合う公共交通を検討したい。持続可能な運行になるよう国・県の制度も活用し、

財源の確保にも努めたい。

問 市長の考える補助金に頼りすぎない市政運営とは
 公民連携／PPPのような考え方を指すのか。

市長 地域資源を磨き新たな視点で組み合わせれば突破口は開ける。公民連携も含めさまざまな手法を探りたい。

問 中国経済の失速は免れない。

市長 中国経済の失速は免れない。商議所や金融機関などと連携し、国県の支援策も見定め必要な支援をしたい。

問 松くい虫防除対策で栗林地区への隔年での薬剤空中散布はできないか。

市長 一つの方法として、地域で一定の合意形成が得られるよう取り組みたい。

ない。日本企業が中国の依存度を下げるため、企業が当市へ回帰するサポートなど対策の考えはあるか。

市長 国内回帰の立地案件も含め助成や税の優遇、低利融資など立地支援制度、用地確保、雇用支援で市内への企業立地を誘導している。商議所や金融機関などと連携し、国県の支援策も見定め必要な支援をしたい。

問 松くい虫防除対策で栗林地区への隔年での薬剤空中散布はできないか。

市長 一つの方法として、地域で一定の合意形成が得られるよう取り組みたい。

問 中央アルプスの国立公園化を機に日本の屋根・日本アルプスの呼称を。

市長 提案として参考にし、今後のPR活動に取り組んでいく。



宮下 稔 議員

問

若者、女性が輝くまちづくりを

答

稼げるまちづくりで活躍の機会を生む

問 これからの持続可能な地域づくりには、若者や女性が活躍できるまちづくりが重要。稼げるまちを推進すると発信しているが、若者や女性の地元就職の促進をどう進めるのか。

市長 若者や女性に魅力あるまちをいかににつくるか。これは決定的に重要なポイントだと思っている。テレ

ワークにより300人に近い子育て中の女性に業務提供ができた。駒ヶ根ルネッサンスによりあらゆる世代が活躍できるまちを目指したい。高校生に地域課題へ関心を寄せてもらい解決策を探るウミガメプロジェクトを始めた。これは若者による地域社会に役立つコミュニティビジネスの起業

につなげていこうとするもので、魅力ある高校づくりも後押しして活力ある地域社会を築いていきたい。

問 地域農業を収益性のある持続可能な産業とするため、農地の集積や農業法人の支援、一次生産者も儲かる6次産業化などをどう進めるのか。

市長 複合的経営の導入や機械化・スマート農業化、ブランド化などを進め、コスト削減と収益性ある農業を目指したい。

問 郊外振興へ向け、リニア残土を活用する竜東の取り組みを第2期総合戦略に位置付け支援すべき。

市長 市全体がよくなることが重要。国の「小さな拠点づくり」の枠組みで支援を活用できるように、総合戦略への位置付けを検討する。

令和2年第1回駒ヶ根市議会臨時会 議案等審議結果

●市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第1号	財産の処分について	原案可決	全会一致	総務産業

令和2年第2回駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

●市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第3号	駒ヶ根市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第4号	駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第5号	駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第6号	駒ヶ根市手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第7号	駒ヶ根市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第8号	駒ヶ根市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第9号	駒ヶ根市水道事業管理条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第10号	令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	全会一致	総務産業
議案第11号	令和元年度駒ヶ根市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第12号	令和2年度駒ヶ根市一般会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第13号	令和2年度駒ヶ根市用地取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第14号	令和2年度駒ヶ根市中沢財産区会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第15号	令和2年度駒ヶ根市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第16号	令和2年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第17号	令和2年度駒ヶ根市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第18号	令和2年度駒ヶ根市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第19号	令和2年度駒ヶ根市駒ヶ根高原別荘地特別会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第20号	令和2年度駒ヶ根市水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第21号	令和2年度駒ヶ根市公共下水道事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第22号	令和2年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計予算	原案可決	全会一致	予算特別
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第24号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第25号	令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第26号	令和元年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第27号	令和元年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第28号	令和元年度駒ヶ根市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第29号	令和元年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第30号	社会資本整備総合交付金 都市再構築戦略事業 駒ヶ根市地域交流センター(赤穂公民館)等整備 建築本体工事変更請負契約の締結について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第31号	社会資本整備総合交付金 都市再構築戦略事業 駒ヶ根市地域交流センター(赤穂公民館)等整備 機械設備工事変更請負契約の締結について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第32号	社会資本整備総合交付金 都市再構築戦略事業 駒ヶ根市地域交流センター(赤穂公民館)等整備 電気設備工事変更請負契約の締結について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第33号	令和元年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	全会一致	総務産業
議案第34号	令和2年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致	総務産業

※印は関連審査を行なった委員会

●選任の同意

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第2号	中沢財産区管理会管理委員の選任について(細田良雄 新任)	同意	全会一致

議案等審議結果

●報告

議案等番号	議案等件名
報告第1号	自動車物損事故に係る損害賠償の額を定める専決処分の報告について
報告第2号	自動車物損事故に係る損害賠償の額を定める専決処分の報告について
報告第3号	株式会社エコーシティー・駒ヶ岳の経営状況を説明する書類について
報告第4号	駒ヶ根市土地開発公社の経営状況を説明する書類について
報告第5号	駒ヶ根高原温泉開発株式会社の経営状況を説明する書類について
報告第6号	一般財団法人駒ヶ根市給食財団の経営状況を説明する書類について
報告第7号	公益財団法人駒ヶ根市文化財団の経営状況を説明する書類について

●議員提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議 第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	原案可決	全会一致

●陳情

議案等番号	議案等件名	採決結果
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 【総務産業委員会での審査結果：不採択】	不採択 (賛成12 反対2)

なお、陳情第1号国に対して「国民健康保険料(税)引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書」の提出を求める陳情書につきましては、継続審査となりました。

賛否が分かれた議案等に対する 会派別議員別賛否

○は委員会審査結果に賛成、×は委員会審査結果に反対。
なお、議長は賛否同数の場合以外は採決に加わりません。

番号	件名	明鏡会		あかつき			至誠会				無会派		採決結果			
		氣賀澤葉子	松崎剛也	三原一高	竹村知子	宮下稔	小原茂幸	小原晃一	池上善文	中原茂之	小林敏夫	塩澤康一		中島和彦	池田幸代	加治木今
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 【総務産業委員会での審査結果：不採択】	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	不採択 (賛成12 反対2)

議第1号 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

新型コロナウイルス感染症は、世界保健機関（WHO）が「パンデミックとみなせる」と発表するなど世界全体に広がり、日本国内においても、一部の国に見られるような大規模な感染の拡大傾向にはないものの、連日、感染者が確認されている状況である。

政府は、これまで感染拡大防止等に向けた対策を講じてはいるものの、状況は刻々と変わり、未だ終息に向けた見通しは立っていない。雇用の維持と事業の継続といった地域経済にも大きな影響が生じており、市民生活の不安はますます高まっている。

国会及び政府においては、国民の安心・安全を確保するとともに、不安を解消するため、下記の事項について特段の措置を適時適切に講ずるよう強く要請する。

- 記 1 検査・医療体制のさらなる整備と充実を図るとともに、正確な情報を速やかに提供すること。
2 子どもたちの健康と安全を第一に考え、全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の臨時休校等に伴って生じる諸課題に対して、責任を持って対応すること。
3 雇用の維持と事業の継続を当面最優先に、国民生活と地域経済への影響を最小限にとどめるよう、必要な対策を講じること。
4 感染拡大防止、衛生確保のため、マスク・消毒液など医療関係物資の安定した供給確保に取り組むこと。
5 地方公共団体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講じること。
6 予防・診断・治療に向けた技術の早期確立を促すなど、必要な対策を躊躇なく講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（新型コロナウイルス感染症対策担当）

市議会として、新型コロナウイルス感染症対策について、3月18日に市及び市教育委員会に対し、以下の申し入れも行いました。

新型コロナウイルス感染症は世界全体に広がりつつあり、日本国内においても、一部の国に見られるような大規模な感染の拡大傾向にはないものの、連日、感染者が確認されている状況であります。また、長野県においても、先日4人目の感染者が報告されるなど、当市においても、予断を許さない状況になりつつあります。

政府は、国内における感染拡大を防止するため、全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の臨時休校やイベントの中止・延期の要請をしていますが、それに伴い、雇用の維持と事業の継続といった地域経済に大きな影響を与えているので、早期終息を望みつつ、次の事項を要望します。

- 記 1 子どもたちの健康と安全を第一に考え、全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の臨時休校に伴って生じる諸課題に対して、責任を持って対応すること。
2 雇用の維持と事業の継続を当面最優先に、今回の感染拡大によって経済的な影響を受けた事業者等に、資金繰り支援をはじめ、地域経済に与える影響にも配慮し、必要な対策を講じること。
3 感染拡大防止、衛生確保のため、マスク・消毒用アルコールなど、緊急的に求められる備蓄資材の配布の必要があるときは、関係機関と連携して対応すること。
4 上記以外に、感染状況とともに、地域経済の動向を十分に注視し、必要な対策を躊躇なく講じること。

行政視察調査報告

議会運営委員会

【期間】2月5日～6日

竹村知子委員長 宮下稔副委員長 池上善文委員
 氣賀澤葉子委員 塩澤康一委員 竹村誉委員
 三原一高議長 小原茂幸副議長

◇市民との意見交換会、女性フォーラム、事業評価について

新潟県上越市は、市議をめぐししやすい環境整備に向けて検討会を設置し、議会改革に取り組んでいます。

議会改革の目的は、若者や女性など多様な議会構成を確保し、市民の幅広い意見を市政に反映すること、議員のなり手を増やすことが目的。検討会では、市議をめぐししやすい環境整備に向けた5つの改革案を検討し、提言書としてまとめています。市民に見える・魅せる議会になるための手法として市民との意見交換会などへのホワイトボードミーティングの導入、女性

フォーラムの開催、事業評価の充実を力を入れていました。議会として、住民協働力・行政との対峙力・立法力・情報収集発信力は本当に重要で、そのためには議員個人のスキル向上が大切ではないかと感じました。

◇通年議会、議会報告会、事業評価、タブレット導入について

新潟県柏崎市は、議会改革に関する特別委員会を設置し、議会改革で目指すものとして議会基本条例、通年議会、議会のICT推進タブレット導入などに取り組んでいます。議会報告会は、12

中学校区で年2回開催し、

意見交換会も取り入れ新潟産業大学の学生にポスターデザインを依頼。事業評価は3分科会方式で9月会議期間に実施。施策・事務事業評価シートに基づき、細かく評価しています。今後の当市の事業評価の参考にしていきたいと感じました。事業評価、予算審議は市長部局に遠慮するのではなく、議会として、責任をもつて行動する覚悟がないと何も進まないのではないかと改めて感じました。



市民に見える・魅せる議会になるための手法
 ホワイトボードミーティング（上越市議会）

議員研修報告

小木曾前教育長を講師に 議員研修会を開催

1月17日、市役所庁舎にて、小木曾伸一氏を迎え、「協働のまちづくりの歴史」をテーマにご講演いただきました。

講師は、駒ヶ根市民憲章にある「互いに手をたずさえて」に言及し、上

穂にある三和森神社の「和」の心を、協働の精神であると説かれました。

また、なぜ赤穂小中学校4校の校歌が同じなのか、

年など各学年の名前も同じであるのかなどを紹介し、その答えは市立博物館に常設展示されている

「赤須・上穂耕地素絵図」にあると解説されました。

かつて、伊那街道東は幕府直轄領の「赤須六か村」。西は旗本近藤氏の

私領上穂村と、幕府奉行の千村氏が預かり支配す

る御領上穂村の「上穂二か村」。光前寺は御朱印地を所有。また大田切川以北と、天流川東の「中沢七か村」や「東伊那五か村」は高遠藩であり、複雑な支配体制下にありました。

そして、赤須宿と上穂宿を三つの領主が混在して支配した原因を、源平の争乱や南北朝の対立、戦国時代から説明されました。さらに、山争いや水争いが繰り返され、反目し合う中で、安全安心な地域づくりの必要性から、治安や防火、消防活動など、

地域がまとま



駒ヶ根商工会議所との
意見交換会を開催

議員
研修
報告

伊南不動産組合との
意見交換会を開催

1月29日、駒ヶ根商工会議所にて、製造業、建設業、商業、サービス業など商工会議所18人・市議15人が参加し、約2時間にわたり3班に分かれて意見交換会を行いました。

「会議所は、若者が業種を超えて集い、夢を描き、地域の未来を話し合う場を設けていく。地域が元気になるために、何ができるかを考えていきたい。」と語りました。

出された主な意見としては、休止中の中央アルプスロープウェイについて、観光再

興について

のアイデア、

高原の再整備や魅力づくり、需要

減に対する

支援措置や、

国定公園化

を活用して

皆で盛り上げていくこ

との重要性

などが語ら

者不足とのことでした。できれば地元の経営者に事業継承して欲しいとの声がありました。人手不足については、Uターンで帰って来られる環境づくりや、地元に残る若者を生かしていく事の重要性が語られました。関連して、地元工業高校の存続は、地域の製造業に大きな影響を与えかねない。高校再編には大きな危機感があることも話題となりました。中心市街地については、建物が老朽化し建物環境が限界にきている一方で、明確なビジョンが見えてこない実情が語られました。

それぞれの立場から、今後も継続して情報交換し合い、課題解決に向かうことを確認して閉会しました。

お互いに、たいへん有意義な時間となりました。

2月7日、市役所会議室にて伊南不動産組合18人と市議15人が、3班に分かれ、2時間にわたり意見交換会を行いました。主な話題として、農地の宅地転用に関して、空き家に付随する農地の下限面積や農地付き空き家における需要と供給のアンバランスなど、売買における課題や要望が出されました。

農地転用の手続きについては、農業委員の意見

書、農地転用許可権者、

農業振興地域除外申請の

受付回数など、事務的な

要望が提案されました。

空き家対策としては、

空き家バンクへの登録物

件が他市町村に比べて極

端に少ないという現状、

摘がありました。中心市街地再生については、詳細に建物診断を行い利用価値など判断して売買している、広小路商店街には半数以上が住んでいない、上下水道などインフラ整備は深刻である、店主によっては再建築費や税金を払う余力が無い、将来的に相続未登記や相続放棄が増え公共管理になりかねないなどの意見が出されました。

また、土地

利用計画

について、

実情にあわせて用途地

域指定を見直し、合法的に都市計



伊南不動産組合との意見交換会



商工会議所との意見交換会

議会の主な動き

1月

- 9日 委員長調整会議、議会運営委員会、会派代表者会
- 15日 市議会1月臨時会
委員長調整会議、議会運営委員会、会派代表者会
- 17日 市議会全員協議会、議員勉強会
- 21日 第163回長野市議会議長会総会
- 23日 飯伊市町村議会議員研修会
- 27日 市議会全員協議会、議員勉強会
- 29日 駒ヶ根商工会議所との意見交換会【P17】

2月

- 4日 教育民生建設委員会協議会
- 5日 議会運営委員会行政視察【P16】
(～6日 新潟県上越市、柏崎市)
- 7日 伊南不動産組合との意見交換会【P17】
- 13日 教育民生建設委員会協議会
- 19日 委員長調整会議、議会運営委員会、会派代表者会
- 21日 市議会全員協議会
- 25日 市議会3月定例会開会(～3/19)【P2～15】
- 26日 議会運営委員会、会派代表者会、広報広聴委員会

3月

- 5日 議会運営委員会、会派代表者会
- 6日 市議会12月定例会一般質問(9日)【P7～13】
- 10日 総務産業委員会
- 11日 教育民生建設委員会
- 12日 予算特別委員会(～16日)【P2～3】
- 16日 市議会全員協議会
- 18日 委員長調整会議、議会運営委員会、会派代表者会、
広報広聴委員会
- 19日 市議会3月定例会閉会、広報広聴委員会
- 25日 広報広聴委員会、教育民生建設委員会協議会

議会広報モニター募集

市議会では、「市議会だより」をより多くの皆さんに読んでいただくために、市民のみなさんの意見を議会だよりの編集に反映させることを目的として、議会広報モニター制度を設置し、ご協力いただける人を募集します。

内 容 定例会後に発行される市議会だよりをお読みいただき、アンケートにお答えいただきます。

任 期 2年

募集要件 駒ヶ根市在住者

申込期限 令和2年5月31日



※地区割、年齢割などで、調整させていただく場合がございます。

駒ヶ根市議会事務局
〒399-4192 駒ヶ根市赤須町20番1号
TEL:0265-81-6191(直通) FAX:0265-83-4348
【E-Mail】gikai@city.komagane.nagano.jp

教育民生建設委員会

「市民と議会による意見交換会」調査報告

意見交換会で出されたご意見の中から、「ひきこもり・発達障害・不登校について」「障がい者の居場所について」を着目し調査を進めました。

2月4日 障害者支援施設「西駒郷」の施設の現状・利用状況を視察及び市担当課から不登校などについて聞き取り

2月13日 市担当課から大人のひきこもりなどについて聞き取り

3月25日 委員会で調査内容協議

ひきこもりについては、各課連携して支援を行っていることが確認できました。今後も、相談の充実に取り組むと共に、市民に向けたセミナーやさらなる広報を行っていくことの必要性を認識しました。また、障がい者の居場所については、施設の詳細をさらに周知していくことが必要。今後も、市へ働きかけると共に、引き続き関心を持って取り組んでいきます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、WHOは世界的な大流行(パンデミック)を宣言。感染拡大防止のため社会生活に規制がかかり、あらゆる場面に影響が及んでいます。議会では、まずできることとして、市に申し入れを行い、国に意見書を提出しました。

伊藤新市長になり初めての3月定例会。一般質問では多くの議員が財政健全化を取り上げ、市長からは、期限や数値を入れた丁寧かつ解りやすい回答がありました。今後に向け活発な議論が期待できそうです。

「議会広報モニター」の募集が始まります。さらに読みやすい「市議会だより」の発行、議会活動に、皆さまのご意見を生かしてまいります。(氣賀澤葉子)

広報広聴委員会

委員長	小原 茂幸
副委員長	塩澤 康一
委員	池上 善文
委員	氣賀澤 葉子
委員	竹村 知子
委員	竹村 誉
委員	中原 茂之
委員	松崎 剛也

発行／駒ヶ根市議会 発行日／令和2年4月20日 編集／広報広聴委員会

〒399-4192 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号 TEL.0265-81-6191(直通) http://www.city.komagane.nagano.jp/